

19年度の生産目標決定
八森、峰浜地域水田農業推進協議会

1月29日、八森、峰浜地域水田農業推進協議会がフアガスと峰栄館で開催されました。
地域水田農業推進協議会とは水田農業を農業者、農業者団体、関係行政機関等が共に考え、取り組み、実現していくために設置されています。
この日の協議会では、19年度の米の生産目標を上限7,079トン、作付け目標面積は上限1,252ヘクタール(水稲作付け率66%)で決まり、生産数量は63トン、作付け面積は11ヘクタール増加しました。この他、両協議会を4月1日から統合することや、転作肩代りの単価を10アール当たり2万5千円とすることを決定しました。



19年度の生産目標などを決定しました

交通安全の普及を誓います
「八峰町交通指導隊出隊式」



事故のない町づくりを目指し

1月7日、八峰町交通指導隊の出隊式がフアガスで行われ、隊員たちは交通事故のない町づくりを目指して、更なる交通安全の普及を誓いました。
現在、八峰町は交通事故死事故記録419日(1月7日現在)を更新中ですが、社会問題化されている酒酔い、酒気帯運転で昨年は6人が検挙されています。
式典では、金田隊長が「今後とも一層、交通安全の普及に努めます。」と今年の更なる活動強化を誓いました。

交通事故死事故ゼロ記録の更新とともに、交通事故、交通違反がなくなるよう指導隊の活動が期待されます。

正月の恒例行事
無病息災を願って餅を食べた
白瀑神社どんと祭り

1月14日、お正月恒例の伝統行事「白瀑神社どんと祭り」が同境内で行われ、町内外から多くの人が訪れました。

境内には、お正月に使ったしめ飾りや門松などが山のように積み上げられ、神事のあとに火がつけられました。この炎で焼いた餅を食べると1年間病気になるという御利益があるとされていることから、訪れた人たちは真っ赤に燃え上がった炎を囲んで、先端に餅の付いた青竹を伸ばし「今年1年無事でありますように」と無病息災を願いながら餅を焼いていました。



無病息災を願って餅を焼く

商工会員から町へ峰浜庁舎火災
の見舞金が贈られました。

1月20日、白神八峰商工会(大森三四郎会長)とブナちゃんスタンプ会の新年会が開催され、その席上で、峰浜庁舎火災の見舞金として67万円が大森会長から加藤町長へ贈られました。
加藤町長は「心温まるご支援ありがとうございました。住民サービス向上に向けて大切に使用します。」と感謝を述べました。
この見舞金は、新庁舎建設の一部にと商工会員や職員の約240人から集めたものです。
商工会員と職員の皆さんありがとうございました。



見舞金ありがとうございました

観海小ミニバス全県大会3位に
東北大会出場決定



全県3位おめでとう

1月4日から6日までの日程で、魁杯争奪第35回県ミニバスケットボール交歓大会が秋田市立体育館で開催され、山本郡大会で見事優勝した観海小の女子チームが出場しました。

試合では、選手たちが日頃の練習の成果を発揮して、3回戦を突破しベスト4へ進出し、6日行われた準決勝では、前年優勝の浅舞小との対戦。持ち前の走るバスケを展開して挑みましたが、惜しくも46対58で敗れましたが、3月28日から青森市で開催される、東北ブロック・スポーツ少年団交歓大会への出場が決まりました。
東北大会でも練習の成果を発揮して頑張ってください。

明るく住みよい社会づくりを目指して
八峰町防犯協会設立総会



安心して暮らせる社会づくりを目指します

2月6日、八峰町防犯協会設立総会が八森庁舎会議室で開かれました。当協会は旧八森町防犯協会と旧峰浜村防犯協会を一本化して、全町の防犯活動を展開しようと設立しました。

総会には、加藤町長をはじめ八森、峰浜両駐在所長や旧協会の役員ら18名が出席。加藤町長が「住民が安心して暮らせる社会になるよう、今後の活動に期待します。」と挨拶しました。

総会では、会則や役員選出、事業計画や予算について話し合われました。会長に選ばれた菊地一男氏は「今後の防犯活動に全力を尽くします。」と述べ、明るく住みよい社会づくりに決意を新たにしました。

随所に好試合や好プレーを披露
会場が熱気と興奮に包まれた
「全町バスケットボール大会」

1月20日から21日にかけて、八峰町バスケットボール協会が主催する全町バスケットボール大会が八森中学校体育館で行われ、小学校男女、一般などの3部門に16チームが参加して優勝を目指しました。

試合は部門ごとに行われ、白熱した好ゲームが展開され、会場は熱気と歓声にあふれていました。

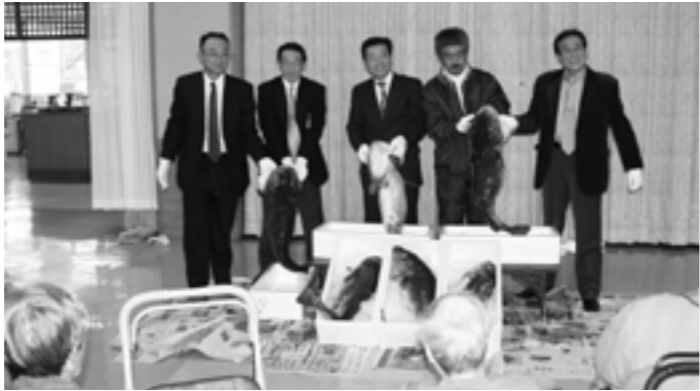
なお、大会結果は次のとおりです。

- 一般の部
 - 1部 優勝 Wacky.S
 - 2部 優勝 あぶねん
- ミニバスの部
 - 5年生主体の部 優勝 観海小
 - 6年生の部 優勝 観海小
- 中学生の部
 - 男子 優勝 八森中
 - 女子 優勝 八森中



白熱したゲームを展開

長寿と健康を願って
はちもり観光市組合が「八森峰浜ふくし会」に旬のタラを寄贈



観光市組合が大きなタラを寄贈

1月16日、はちもり観光市組合(田村忠悦組合長)が松波苑と海光苑に旬の寒タラ6本を寄贈しました。同組合では施設利用者に冬の味覚を楽しんでもらおうと、八森産のタラを平成元年から毎年寄贈しており、この日は松波苑において須藤義孝理事長に手渡されました。
贈られたマダラはどれも10kgを超える大物。さっそくこの日の昼食にタラ汁として利用者に振る舞われ、お年寄りたちは旬の味覚を満喫していました。